

消化器外科 II に通院中の患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]

AJCC 第 8 版による T1 膵癌の新分類のバリテーション試験と臨床病理学的特徴—日韓共同プロジェクト研究—

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 平野 聡 (消化器外科 II ・科長/教授)

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] ソウル大学病院 外科 教授 Jin-Young Jang
(日本側代表責任者) 和歌山県立医科大学 外科学第二講座 准教授 川井 学

[共同研究機関名・研究責任者名]

施設名	所属部科	研究代表者
獨協医科大学病院	第二外科	窪田 敬一
広島市立広島市民病院	外科	塩崎 滋弘
防衛医科大学校病院	外科	永生 高広
国立病院機構 大阪医療センター	外科	濱 直樹
帝京大学医学部附属病院	外科学講座	佐野 圭二
大分大学医学部附属病院	消化器・小児外科	岩下 幸雄
国立病院機構九州医療センター	肝胆膵外科	高見 裕子
東北大学病院	消化器外科学	海野 倫明
東京大学医学部附属病院	肝胆膵外科	有田 淳一
熊本大学医学部附属病院	消化器外科	山下 洋市
名古屋大学医学部附属病院	消化器外科 I	水野 隆史
杏林大学附属病院	消化器・一般外科	阪本 良弘
東京慈恵会医科大学附属病院	肝胆膵外科	矢永 勝彦

山口大学医学部附属病院	第二外科	永野 浩昭
大垣市民病院	外科	前田 敦行
兵庫医科大学病院	肝胆膵外科	鈴木 和大
福島県立医科大学附属病院	肝胆膵・移植外科	丸橋 繁
北海道大学病院	消化器外科 II	平野 聡
福山市民病院	外科	日置 勝義
京都第二赤十字病院	外科	谷口 弘毅
群馬大学医学部附属病院	肝胆膵外科	調 憲
鹿児島大学病院	消化器・乳腺甲状腺外科	前村 公成
弘前大学医学部附属病院	消化器・乳腺・甲状腺外科	石戸 圭之輔
金沢大学医学部附属病院	肝胆膵移植外科	田島 秀浩
東京女子医科大学病院	消化器・一般外科	山本 雅一
九州大学病院	第一外科	大塚 隆生
旭川医科大学病院	外科学講座消化器病態外科学 分野	古川 博之
高知県・高知市病院企業団立 高知医 療センター	消化器外科	岡林 雄大
大阪市立大学医学部附属病院	肝胆膵外科学	久保 正二
北海道公立大学法人 札幌医科大学附 属病院	消化器・総合、乳腺・内分泌 外科	木村 康利
神戸大学医学部附属病院	肝胆膵外科	田中 基文
東京医科大学病院	消化器外科・小児外科	土田 明彦
秋田大学医学部附属病院	消化器外科	山本 雄造
愛知県がんセンター中央病院	消化器外科	清水 泰博
徳島大学病院	消化器・移植外科	島田 光生
JA 北海道厚生連札幌厚生病院	外科	石津 寛之
自治医科大学附属病院	消化器外科	佐久間 康成
久留米大学病院	外科	奥田 康司
がん・感染症センター 都立駒込病院	肝胆膵外科	大目 祐介
信州大学医学部附属病院	消化器外科	清水 明
財団法人厚生会 仙台厚生病院	消化器外科	山内 淳一郎
医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院	外科	安保 義恭

奈良県立医科大学附属病院	消化器・総合外科	野見 武男
宮崎大学医学部附属病院	肝胆膵外科	七島 篤志
関西医科大学附属病院	外科	里井 壯平
富山県立中央病院	外科	天谷 公司
静岡県立静岡がんセンター	肝胆膵外科	杉浦 禎一
医療法人 明和病院	外科	相原 司
三重大学医学部附属病院	肝胆膵・移植外科	水野 修吾
新潟大学医歯学総合病院	消化器・一般外科	坂田 純
千葉大学医学部附属病院	臓器制御外科	鈴木 大亮
山梨大学医学部附属病院	外科学講座第一教室	川井田 博充
昭和大学病院	消化器・一般外科	草野 智一
愛媛県立中央病院	一般消化器外科	河崎 秀樹
島根大学医学部附属病院	総合外科学	川畑 康成
北里大学病院	一般小児肝胆膵外科	隈元 雄介
慶應義塾大学病院	一般・消化器外科	阿部 雄太
和歌山県立医科大学附属病院	第2外科	川井 学
公立大学法人横浜市立大学附属病院	消化器・腫瘍外科学	遠藤 格
筑波大学附属病院	消化器外科	倉田 昌直

[研究の目的]

American Joint Committee on Cancer (AJCC)第8版による膵癌のステージ新分類において「膵外進展」を腫瘍 (T) 因子に加える意義は少ないとの報告の結果、T1は「膵外進展の有無にはかかわらず 2cm 以下の腫瘍」と定義されました。しかし、T1膵癌は限られており、T1膵癌についての臨床病理学的特徴や治療戦略はいまだ不明な点は多くあります。このため、日韓多施設共同研究プロジェクトとして日韓両国の多くの膵癌患者さんを対象とさせていただき、最大腫瘍径 2cm 以下の T1膵癌の臨床病理学的特徴を明らかにし、T1膵癌新分類の妥当性を検証することが本研究の目的です。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

膵癌の患者さんで、平成12年1月1日から平成28年12月31日までの期間中に、膵癌に対して外科的手術を受けた方

○利用するカルテ情報

①年齢、性別、症状、身長、画像所見 (腫瘍径)、腫瘍の部位、手術所見 (手術日、

術式)、②病理所見(腫瘍径、分化度、郭清リンパ節数、転移リンパ数、脈管侵襲の有無、神経叢浸潤の有無、根治切除度、AJCC 第7版のTNM分類およびステージ、AJCC 第8版のTNM分類およびステージ)、③生存情報(術後補助療法の有無、術後補助化学療法の有無および使用薬剤、術後補助放射線療法の有無、再発の有無、再発部位、再発日、無再発生存期間、生存状況、死亡日、最終生存期間)

[研究実施期間] 実施許可日～2020年5月31日(登録締切日:2019年6月30日)

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院消化器外科II 担当医師 浅野 賢道

電話 011-706-7714 FAX 011-706-7158